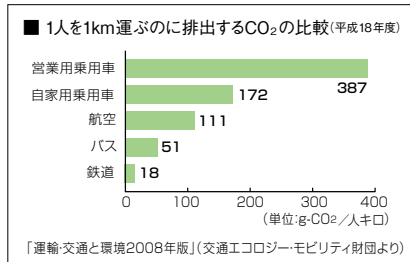


地球温暖化防止の取り組み(公共交通利用促進)

鉄道の環境優位性

鉄道は環境にやさしい交通手段と言われており、一人一人運ぶためのCO₂排出量はマイカーの9分の1とされています。

当社では環境方針の重点実施項目に「公共交通利用促進」を掲げており、鉄道の環境優位性をPRし、マイカー利用の方を鉄道利用に導くことでCO₂削減に努めています。



サイクル&ライド

市街への自動車の流入を抑制して、電車の利用を促進するため、関係行政と連携し、必要に応じた駐輪場の設置や現在問題となっている放置自転車対策についての協議を進めています。



▲整備前



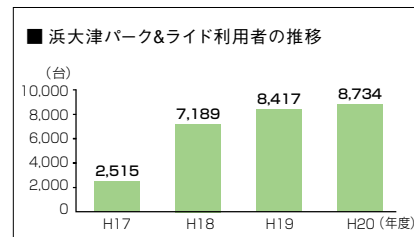
▲整備後

パーク&ライド

当社では、京都方面に訪れる観光旅客のパーク&ライドを行政機関と協同で取り組んでいます。とりわけ京都東山地区には、年間約1,500万人の方が来訪されますが、特に秋の行楽シーズンの休日に集中するため、周辺道路は大渋滞し、バスの遅延や緊急自動車の通行が困難になるなど地域交通問題となっています。

そこで、大津市の浜大津公共駐車場や沿線の臨時駐車場を掲載したパンフレットを高速道路PAなどで配布し、マイカー利用者にパーク&ライドへの移行を促すことで、京都市内の渋滞緩和と公共交通利用促進による環境負荷低減に努めています。

また、京都市ホームページの京都観光交通情報において、当社線の橋本駅前駐車場の情報を提供しています。



▲パーキングエリアでのパンフレット配布活動



▲パーク&ライド広告

沿線地域の交通問題改善への取り組み

当社では、沿線自治体との連携を深め沿線の環境への取り組みに協力しています。平成17年度からは宇治地域で実施している「かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト 宇治」に、京都府、宇治市、地元企業、交通事業者のほか、NPO法人京都地球温暖化防止府民会議も参画し、宇治地域通勤交通社会実験を推進しています。

この実験では、宇治地域に勤務するマイカー通勤者向けに「通勤マップ」を作成、環境負荷低減への自発的な交通行動を促したほか、乗り心地の改善にも効果があります。なお、現在も通勤マップの改正に協力しています。

他社線との連携強化

京都は年間約5,000万人もの観光客が訪れる国際観光都市であり、なかでも紅葉シーズンは観光客数がピークとなり、近年では、自家用車に加え、JR京都駅から発着するバスやタクシーなどによる交通渋滞と排気ガスによる環境問題が深刻化しています。

そこで、当社は西日本旅客鉄道(株)と協同し、駅の表示やパンフレットなどにお互いの路線表記を充実させ、東福寺駅を経由した鉄道の乗り継ぎ【JR京都駅

⇒(JR京阪)東福寺駅⇒(京阪)七条・清水五条・祇園四条】をPRして、交通渋滞のない鉄道の利用を促進することで、環境問題に貢献しています。



▲乗り換え時刻表

騒音振動低減の取り組み

防音車輪

曲線通過時にレールと車輪の摩擦により発生するキシリ音を低減するために、ゴムリングを車輪にはめ込んだ防音車輪を採用しています。防音車輪は従来の車輪より15~20dB程度の騒音低減効果があります。平成10年度より使用を開始し、京阪線では平成20年度までに

全車両に導入を完了、大津線では800系全車両に導入済みで、600・700形についても順次交換しています。



▲防音車輪

車輪踏面異常時の車輪転削

寝屋川車両基地では、車輪踏面を新品の踏面形状に戻すため車輪踏面削正を施し、快適な乗り心地と振動・騒音の低減に努めています。

車輪は、使用による踏面摩耗で乗り心地が悪化したり、車輪とレールの接触による疲労傷や摩擦傷、または、ブレーキを